

KYODO PR Business Report

第57期(2020年12月期)中間事業報告書



【経営理念】

我々は情熱と創造性で
顧客の課題解決を図り
100年のコミュニケーションをつなぐ
PRエージェンシーである。

【ビジョン】

No.1 PR

【当社の特徴】

「統合的なPRサービス」

当社ではPR戦略の立案から実施までをワンストップで行う専任チーム、危機管理、海外PR、デジタルコミュニケーションなどの高い専門性を有する専門チームを有し、これらのチームが連携し、統合的なPRサービスを提供しています。

「メディアリレーションズ」

PR会社の主な業務には、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・Webなど様々なメディアにクライアントの情報提供を行う「メディアリレーションズ(当社商標)」があります。現場から幹部層までが長年培ってきた重層的で強固なメディアネットワーク力は、当社最大の資産です。

「PR業界への貢献」

当社が直接企業や団体などにPRサービスを提供するだけでなく、PR業界の活性化につながる情報の提供をPR総研を通じて行っています。また、「広報の学校」「デジマナ」を通じて、広報・PR人材の育成につながる活動を行っています。

Top Message | 株主の皆様へ |



代表取締役社長

谷 鉄也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第57期(2020年12月期)上半期連結業績の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、前連結会計年度に引き続き、新規リテイナー顧客の獲得と、新規顧客及び既存顧客からのオプション＆スポット案件の獲得に注力いたしました。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、リテイナーでは、観光業等のクライアントの契約解除があり、契約件数が前年同期比で減少いたしました。オプション＆スポット案件につきましては、イベントの延期や中止、映画の上映の延期があり、売上高が前年同期比で減少いたしました。また、投資有価証券評価損による特別損失を計上したことにより、税金等調整前四半期純損益は、前年同期比で減少いたしました。以上の結果より、上半期連結業績につきましては、減収減益で終わりました。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは困難ですが、引き続き利益率の高いリテイナー契約の維持と新規顧客獲得を図ることにより安定的な利益の創出に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

単位：百万円 ()は前年同期比

当第2四半期の概要		通期の見通し		2020年12月配当予定	
売上高	2,321 (14.9%減)	売上高	4,500~5,000 (21.8~13.2%減)	1株当たり	12.00 円
営業利益	28 (88.6%減)	営業利益	100~180 (79.9~64.0%減)		
経常利益	19 (92.1%減)	経常利益	92~172 (81.5~65.5%減)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△72 (-)	親会社株主に帰属 する当期純利益	△29~24 (-~93.5%減)		

インターネット上で記者会見などメディア向けイベントをライブ配信するサービス『オンライン記者会見』の提供を開始

昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クライアントを中心とした企業より「記者や編集者が集まる記者会見や記者発表会についても自粛すべきかどうか」「実施するための代替手段はないか」という相談が多く寄せられました。当社では、インターネット上で記者会見や記者発表会などのメディア向けイベントをライブ配信する、『オンライン記者会見』サービスを3月より開始いたしました。

サービスを開始した3月から7月までの間に、本サービスに関するお問い合わせを多数いただいております。実際にご利用いただいたクライアントの中には、本サービスを継続的にご利用いただくなど、好評を得られております。

新型コロナウイルスに伴う、イベント「ネモフィラ祭り2020」の中止対応

大阪湾が一望できる広大な敷地に約100万株のネモフィラが咲き誇る「ネモフィラ祭り」は、昨年に続き本年に第2回目の開催を予定しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント中止という不測かつ前代未聞の状況となりました。

このような状況下で、クライアントへ随時情報提供を行い、早くから対策を協議してまいりました。開催中止の報道資料に加え、+αの情報発信として、SNS等で投稿している動画など、多種多様なコンテンツ内容を提供することにより、開催中止にも関わらず100件を超える露出に成功しました。

来年の開催に向けて期待感を持たせたポジティブな内容での掲載がなされ、クライアントからの信頼獲得に繋がりました。



豪クイーンズランド州の野生動物病院チャリティイベントPR

昨年末から数か月にわたって続いたオーストラリアの大規模森林火災にて、コアラなど多数の動物が負傷し、そうした動物を保護するクイーンズランド州の野生動物病院は、オンラインにて保護のための寄付を募るチャリティのPRイベントを5月に開催しました。

イベントは保護された野生動物の治療経過報告や、赤ちゃんコアラの命名権オークションなどを行うというもので、新型コロナウイルスの話題が続く厳しい状況の中、海外支局をもつメディアやインフルエンサーの特性を活かした発信を行うことでSNSや地方紙への掲載にもつながり、結果としてリタイナー契約継続にも貢献しました。



© Currumbin Wildlife Hospital

「Fukushima50」コロナ禍を耐えて新展開！

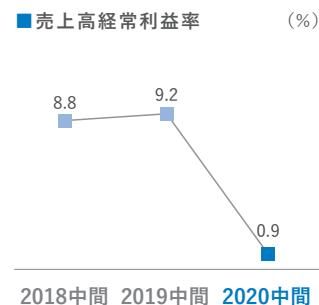
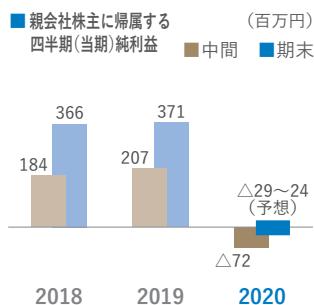
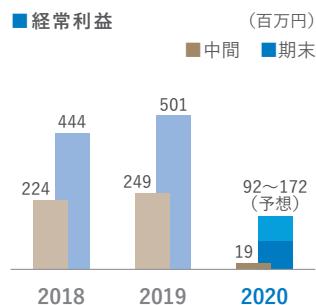
2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故で、未曾有の事態を防ごうと現場に留まり奮闘し続けた50人を海外メディアはFukushima50と呼んで報道しました。彼らの知られざる姿を描いた「Fukushima50(フクシマフィフティ)」は、映画界を代表する佐藤浩市、渡辺謙のキャスティングを得て完成しました。

全国公開時期がコロナ禍と重なり、担務の公開宣伝もいまだ経験のない対応を迫られる中、劇場公開中の配信開始や、公開3か月後の舞台挨拶、無観客の舞台挨拶の対応等、新施策による情報発信を実施し、興行環境の維持に参画することができました。

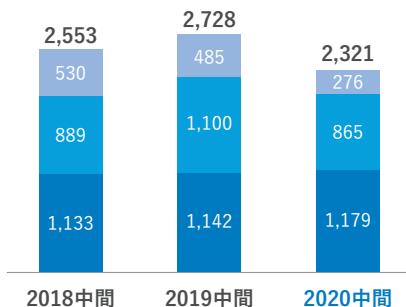
映画「Fukushima50」は、3月6日の全国公開から半年経つ今尚ロングランで劇場公開中です。



Financial Highlight | 決算ハイライト(連結) |



■業務区分別売上高(単位: 百万円) ■リテイナー ■ オプショナル&スポット ■ ペイドパブリシティ



- リテイナー …………… 企業などの広報活動を6ヶ月以上の契約をもって支援及びコンサルティングしていくものであります。PR戦略の策定からパブリシティ(記事化)業務、不祥事発生時の危機管理広報対応支援など幅広いサービスを行っております。
- オプショナル …………… リテイナー契約顧客に対する一時的な付加サービスを言います。
- スポット …………… 企業などの6ヶ月未満の広報活動支援を言います。ニュースリリースの作成・配信などのパブリシティ活動から、展示会や美術展等の開催告知目的のPR活動、記者発表会の企画・運営等まで各種のニーズに対応します。
- ペイドパブリシティ …… 新聞や雑誌等の特定のページを購入して、顧客の意図する内容を記事形式で掲載していく手法を言います。

Company Profile | 会社情報 |

■取締役及び監査役 (2020年6月30日現在)

取締役会長	古賀 尚文
代表取締役社長	谷 鉄也
取締役副社長	沼田 英之
専務取締役	西井 雅人
取締役	木村 忠久
取締役	信澤 勝之
取締役	尼崎 勝司
社外取締役	高橋 千秋
常勤監査役	中田 一久
社外監査役	行本 憲治
社外監査役	黒澤 基弘

※社外取締役である高橋千秋氏並びに社外監査役である行本憲治氏及び黒澤基弘氏は、株式会社東京証券取引所の規定する独立役員であります。

■大株主 (2020年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
(株)新東通信	1,437,396株	36.16%
(株)テクノグローバル研究所	555,000株	13.96%
佐藤 友亮	120,000株	3.02%
共Pグループ従業員持株会	102,900株	2.59%
山本 文彦	82,500株	2.08%
山沢 滋	72,800株	1.83%
(株)SBI証券	68,381株	1.72%
上村 巍	67,200株	1.69%
鈴木 泰弘	57,300株	1.44%
SMBC日興証券(株)	51,300株	1.29%

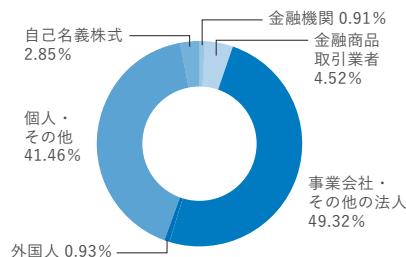
注)持株比率は自己株式(116,611株)を控除して計算しております。
また、自己株式につきましては、上記の表から除外しております。

■株式状況 (2020年6月30日現在)

発行可能株式総数	15,120,000株
発行済株式の総数	4,091,796株
株主数	2,260名

■所有者別株式分布状況

(2020年6月30日現在)



HPのご案内

トップページ <https://www.kyodo-pr.co.jp/>



当社の会社情報や様々なPRの実績をご覧になることができます。

IR案内 <https://www.kyodo-pr.co.jp/investor/>



各種開示資料や冊子ではお伝えしきれなかった財務の情報がまとめられています。

社 名 共同ピーアール株式会社(証券コード:2436)
KYODO PUBLIC RELATIONS CO., LTD.
所在地 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル
電話:03-3571-5171(代) FAX:03-3571-8171
創 業 1964年(昭和39年)11月14日
資本金 5億812万円
社員数 212名(単体)、256名(連結)
(2020年6月30日現在)